

写真1　番町文人通り

近隣史跡の紹介

番町麹町の日本テレビ通りと東西に交差する細い道に「番町文人通り」（写真1）があります。

この通りは全長1kmほどの道ですが、明治、大正、昭和にかけて、多くの文人たちが、通り沿いに密集して住んでいたことから「番町文人通り」と呼ばれています。

交差点の近くには案内版があり、画家の藤田嗣治や作家の島崎藤村、泉鏡花、有島武郎・有島生馬・里見弴兄弟、菊池寛、直木三十五や歌人の与謝野鉄幹・晶子夫妻など、14名の文人の名と旧居跡が記されています。

当時の建物は現存していませんが、旧居跡地には文人たちを紹介する“まちの記憶プレート”（写真2）が置かれ、文人たちが暮らした形跡を知ることができます。

参考文献
千代田区麹町出張所地区連合町会資料



写真2　まちの記憶プレート

